

■米国：ケンパー郡 IGCC プロジェクト、完成に向け一歩前進

2016年9月16日付業界誌によれば、サザンカンパニー子会社のミシシッピ電力は同日、ケンパー郡に建設中の石炭ガス化コンバインドサイクル（IGCC）発電所（58.2万kW）で第2ガス化炉を使用し合成ガスの製造を開始したと発表した。同プロジェクトはこれまでコストの増大と完成時期の延期を繰り返してきたが、いよいよ完成間近となった。発電所はガス化炉2基、燃焼タービン2基、蒸気タービン1基から構成される。合成ガスは地元産褐炭から製造され、同発電所の燃焼タービンで発電に使用される。ミシシッピ電力はこの8月にプロジェクトの完成期日を9月30日から10月31日に1カ月延期することを発表した。この延期により建設コストはさらに4,300万ドル追加となり、同発電所の総建設コストは68億ドルとなっている。